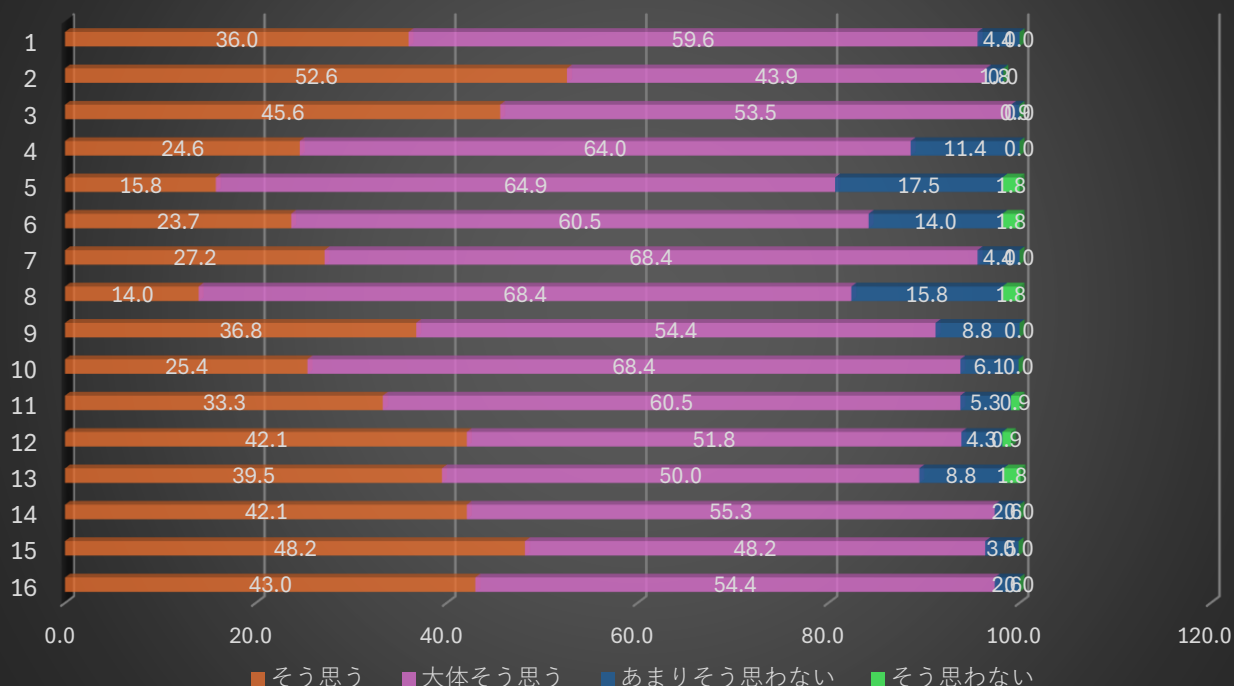


上谷の丘

「自分も他者も大切に、聞いて考え行動し、挫けずやり抜く子どもを育てる学校」

去る7月、上谷小学校の教育活動について保護者アンケートを実施しました。ご回答いただき、誠に感謝申し上げます。アンケート結果は以下のとおりです。皆様から頂いたご回答につきましては、今後の教育活動や学校運営の改善に向けて検討させていただきます。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和7年度前期保護者アンケートの結果



質問項目について

- 1「私は、上谷小学校の教育に満足している。」
- 2「子供は、学校に楽しく通っている。」
- 3「子供は、自分も他者も大切にしている。」
- 4「子供は、聞いて考え行動できている。」
- 5「子供は、くじけずやり抜く姿勢が育っている。」
- 6「子供は、お世話になっている人にあいさつをしている。」
- 7「子供は、交通ルールを進んで守っている。」
- 8「子供は、授業が「分かりやすい」と言っている。」
- 9「子供は、学級を自分の居場所だと感じている。」

- 10「子供は、ルールやマナーを理解し行動している。」
- 11「先生は、子供の話をよく聞いてくれていると思う。」
- 12「先生は、子供の良いところ認めてくれていると思う。」
- 13「先生は、子供の困り感に寄り添ってくれていると思う。」
- 14「学校は、保護者・地域住民と協力して環境整備・安全対策に取り組んでいると感じる。」
- 15「学校は、開かれた学校づくりに努めていると感じる。」
- 16「学校は、学年に応じた体験的な活動を取り入れている。」

【アンケート結果に係る改善策等について】

- 項目3から5については、目指す学校像「自分も他者も大切に、聞いて考え行動し、挫けずやり抜く子どもを育てる学校」についての質問でした。これらについては、ポジティブな評価が100%となることを目指しております。
- 項目 4 については、教師は「子供が興味関心をもてたり自分にとって有益と思えたりする」内容を意識して話すよう努めて、子供の聞く動機を高めていきます。また、考え行動できるよう、目的・目標をもたせる工夫をし、解決意欲を持たせられるようにしていきます。
- 同時に、9 月の学校だよりでもお示しましたが、子供が人の話を聞く態度を身に付けられるようにしていきます。ペア・グループでの学習をとおして、話を聞き合い仲間とつながる安心感に気付いて、人の話を聞くことの大切さを感じられるようにしていきます。
- 項目 5 については、課題が難しすぎたり自分事でなかったり、また周囲からの支援やつながりがなかったりすると、大人でも挫けてしまいませんか。様々な教育活動を通して、ペア・グループや学級全体で課題を共有し、「一緒にやってみよう」「協力してできるかも」と前向きな構えを作れるようにしていきます。そして、活動を通して成功や失敗の経験を重ねるなかで挫けずやり抜く態度を身に付けられるようにしていきます。また、教師が率先してポジティブな言葉かけをしたり、学級などの仲間同士支え合う環境づくりをしたりと努めていきます。
- 項目8については、授業が「分かりやすい」とは、子供にとって「分かったこと」がある学習であると考えます。ただ、一方で「疑問に思うこと」があったり「何が分からなかったのかを知ったりすること」も同様だと考えます。これらのことを言える、言葉にして書くことが学びの定着につながっていきます。子供一人一人が自分の言葉で何を学んだのか整理できるように、学習の振り返りを今後も取り組んでいきます。
- 項目9については、教師と子供のつながりや子供間のつながり、学級内での居甲斐・やり甲斐に関わってくることです。普段の学習の中でペア・グループによるつながりを意識して取り組めるようにしたり、学級内の係活動・当番活動や各種行事において活躍の場を計画的に用意したりすることで子供一人一人がやり甲斐を感じられるようにしていきます。
- 項目11と13については関連性の高い内容であると捉えています。まずは、子供たちの話を傾聴すること、子供の行動や困り感の「わけ」に耳を傾けることをこれまで以上に心がけていきます。そして、支援をしたのちの子供への見届けを徹底することで、誰一人取り残されないように努めていきます。

※「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が大きい項目について回答させていただきました。